

さいしょの一步

浅賀ふさ物語

日本初の医療ソーシャルワーカーである浅賀ふさ先生の半生を描いたラジオドラマを2023年にCBCラジオで制作しましたが、この度、書籍化します。この書籍には、戦前・戦後の混乱のなかで、福祉という言葉すらなかった時代から、患者や家族に寄り添い続けた浅賀先生の実践が詰まっています。私たちはこの本を、福祉の道を志す中高生や、ソーシャルワーカーの方々に届けたいと考えています。

立ち上げの背景

浅賀ふさ先生は、戦前の日本において「患者の生活を支える」ことの重要性にいち早く気づき、病院におけるソーシャルワーカーの役割を確立した女性です。

彼女の生涯は、今の日本の福祉や医療に携わる人にとって、大きな道しるべになります。

しかし、その存在や功績を知る機会は限られており、私たちは「福祉の原点」に立ち返るためにも、この書籍を通じて想いを伝えたいと考えました。

私たちについて

このプロジェクトは、日本福祉大学の学園広報室と学生有志による「次世代の福祉人材育成プロジェクト」です。本学の周年記念事業として制作したラジオドラマ『さいしょの一步 浅賀ふさ物語』をもとに、書籍化を進めてきました。

その中で、「この物語を若い世代に届けたい」という想いで、本プロジェクトが立ち上がりました。

学生の声



『どんなに困難でも、前を向いて福祉をつくる姿に勇気をもらった』

『この物語は、これから福祉の道に進む人たちの背中を押す力があると思う』

『福祉＝支援ではなく、人とのつながりや共生だということを伝えたい』

本プロジェクトに関わる学生たちは、自らの経験や学びを活かし、「支援する」だけではない福祉の魅力と可能性を広めようとしています。

未来の福祉人材に届けたい。
日本初のMSW浅賀ふさ先生の
物語を本にして、あなたへ。

ラジオドラマの脚本をベースにしつつ、当時の時代背景を含めたコラムを入れて、書籍化し、これからの社会を担う世代の方々たちに届けることが私たちの目的です。

具体的には、以下の機関・団体への無償寄贈を行います。

- 愛知県内の中学校・高等学校
- 全国のボランティア部のある高校
- 全国の福祉科をもつ高校
- 日本医療ソーシャルワーカー協会および全国各支部

また、想いや活動に共感いただける個人・団体・企業へのお礼としてリターンを用意しています。



現在の準備状況

- ・ラジオドラマ脚本をもとに書籍原稿を整備済
- ・表紙・装丁デザインの調整完了（オリジナル仕様）
- ・学生と協力してリターン案を確定
- ・寄贈先リストを確保し、発送計画を作成中
- ・2026年1月下旬より書籍販売・寄贈開始予定

リターンについて

感謝の気持ちを込めて、以下のようなリターンをご用意しています（一部抜粋）

支援金額	リターン内容
2,000 円	お礼状
5,000 円	書籍（オリジナル装丁仕様）1冊
7,000 円	書籍（オリジナル装丁仕様）+文庫サイズブックカバー or オリジナルタオル
10,000 円	書籍（オリジナル装丁仕様）+寄贈本への記銘（支援者名掲載）
30,000 円	書籍（オリジナル装丁仕様）10冊+寄贈本への記銘（支援者名掲載）

スケジュール

2025年11月	クラウドファンディング開始
2026年1月下旬	クラウドファンディング終了
2026年1月末	書籍販売開始
2026年3月	リターン品発送開始
2026年3月	寄贈書籍の発送完了 （中学・高校・団体など）

目標金額と資金の使い道

目標金額：**150万円**

寄贈書籍の送料	40万円
リターン用書籍印刷代	40万円
書籍以外の返礼品制作	10万円
リターン送料	10万円
広報費・運営費・手数料など	50万円

ご支援の流れ

1. CAMPFIRE の会員登録をする
2. 支援したいプロジェクトを探す
3. 支援情報を入力する
4. 支援金額を支払う

[限定公開サイトはこちら](#)



さいごに

福祉の道を志す私たち学生にとって、浅賀ふさ先生の生き方は、迷いながら進む背中を押してくれる灯のような存在でした。“福祉とは支援ではなく、人と人とのつながりそのものだ”という学びを胸に、私たちはこの物語を、これからの世に届けたいと心から願っています。そして同時に、私たち自身もまた、未来をつくる次世代の一員です。

このプロジェクトを通じて、福祉の可能性を信じ、誰かの力になりたいと願う「同志」と出会えたら、とても嬉しく思います。この書籍が、福祉を知るきっかけになり、誰かが「自分も誰かの力になれるかもしれない」と感じる一歩になれば幸いです。

どうか、未来の福祉を育むこの挑戦に、あなたの力を貸してください。応援、よろしくお願いいたします。